

日観連 2010年度冬季 旅館営業概況調査

単価、稼働率ともに低調

期間=2010年12月~2011年2月 回答=231軒

冬季(2010年12月~2011年2月) 地域・規模別営業概況

▲マイナス

Table with columns for region (e.g., 北海道, 東北), scale (大規模, 中規模, 小規模), and metrics (総消費単価, 宿泊単価, 定員稼働率) for 09 and 10 years.

宿泊単価は1.5%減の1万198円に

日観連は主要観光地にみると、前年同期を上回ったのは関東(0.4%)だけ。施設が0.4%減の1万5674円、30~79室の増が大きいのは九州(8.0%減の3580円)の中規模施設が1.8%減の1万5033円、29室以下の小規模施設が0.3%減の1万7896円だった。

景気低迷、価格競争も激化

日本観光旅館連(近畿孝休会長)がまとめた会員旅館・ホテルの営業概況調査の結果、2010年度冬季(10年12月~11年2月)の総消費単価、宿泊単価、定員稼働率はいずれも前年同期の実績を下回った。

施設規模

大規模: 客室数80室以上
中規模: 客室数30~79室
小規模: 客室数29室以下

調査項目

総消費単価: 3カ月の宿泊料と館内販売などの総売上高を、宿泊人数で除した金額
宿泊単価: 3カ月の1泊2食宿泊料および室料を宿泊人員数で除した金額
定員稼働率: 3カ月の総収容定員に対する宿泊人員の割合

調査データ

冬季(2010年12月~2011年2月) 主要観光地別営業概況

▲マイナス

Table with columns for region (e.g., 北海道, 東北), specific location (e.g., 阿寒・川湯, 旭川・滝川), and metrics for 09 and 10 years.

冬季(2010年12月~2011年2月) 月別営業概況

▲マイナス

Table with columns for region, month (12月, 1月, 2月), and metrics (総消費単価, 宿泊単価, 定員稼働率).